

COVID-19陽性者の致命率モニタリング全国調査

令和4年度地域保健総合推進事業 全国保健所長会協力事業
「新型コロナウイルス対策等推進事業」事業分担者 田中英夫1)

事業協力者：高橋佑紀2), 古賀義孝3), 瀧口俊一4), 大木元 繁5), 稲葉静代6), 松岡裕之7), 宮島有果8), 高木 剛9), 入江ふじこ10), 伴場啓人10), 吉見富洋10), 鈴木智之11), 荒木勇雄11), 白井千香12), 松本小百合13), 清水基之13), 柴田敏之14), 永井仁美15), 木下 優2), 藤田利枝16), 緒方 剛10)

- **対象者**：茨城県10)、群馬県9)、長野県松本保健所8)、飯田保健所7)、岐阜県岐阜保健所6)、滋賀県11)、大阪府茨木保健所15)、藤井寺保健所2)、東大阪市13)、枚方市12)、寝屋川市1)、吹田市14)、徳島県5)、佐賀県3)、長崎県16)、宮崎県4)(7県5中核市3県型保健所) で2022年1月3日から8月28日に診断された40歳以上の552,581人。
- **死亡事実の把握法**：感染症法に基づく死亡診断医療機関からの死亡届による。診断日から28日以内に死亡事実が得られなかった対象者を生存とみなす **passive follow up法**。
- 対象者を**診断期間により9期に分け**、2022年暫定日本人人口で**年齢調整**した致命率を算出し、そのトレンドを分析した。
- ハーシスの健康観察情報と死亡届け出情報から、死亡者を、**コロナ関連死亡、コロナ非関連死亡、詳細不明**、に分類し、不明を除く**コロナ関連死亡者の割合**を、死亡者のコロナ診断期間により同じく9期に分けて算出した。
- 年齢階級別の致命率を、イングランドのBA.1オミクロン陽性者(Lancet April 2 2022)のそれと比較した。

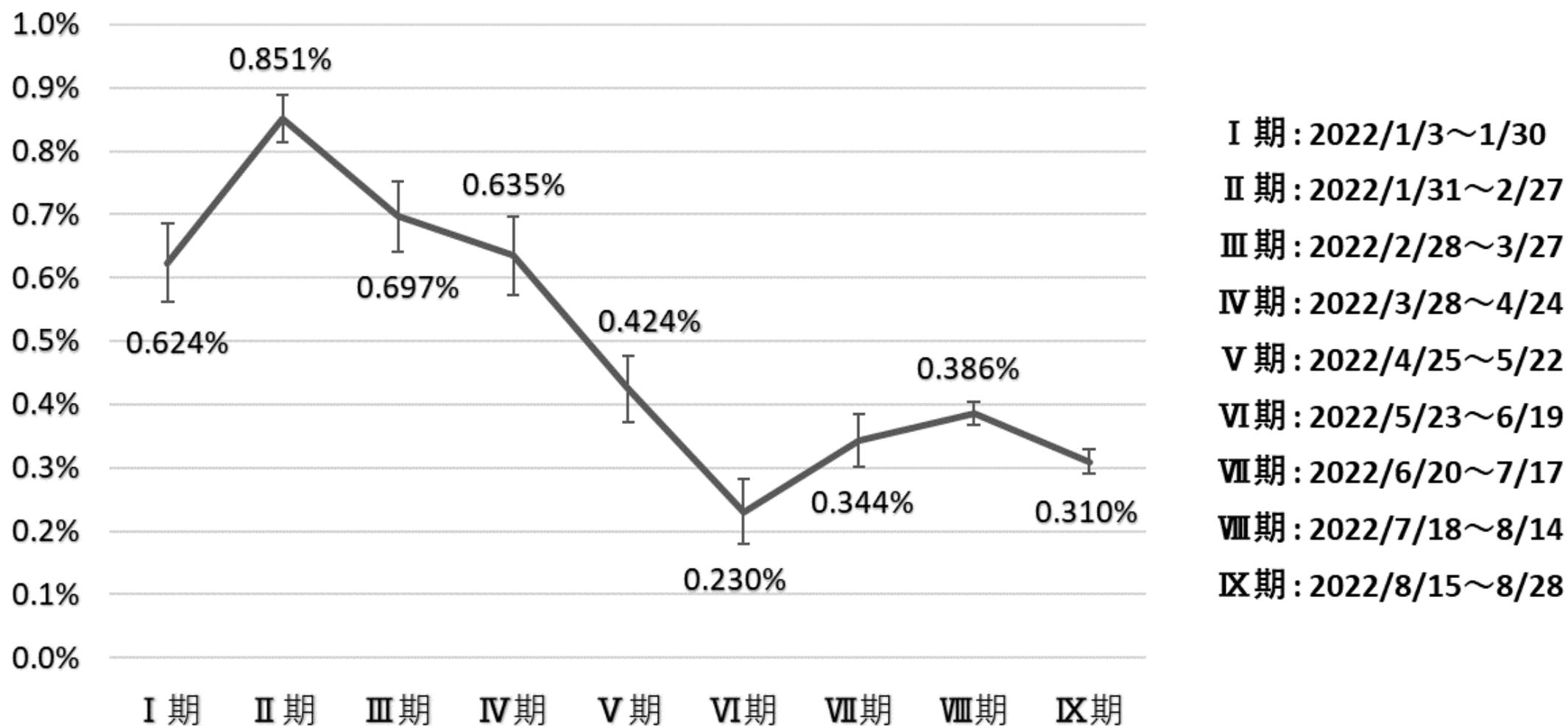


図1. COVID-19第6波・7波の陽性者(40歳以上)における診断期間別の年齢調整致死率

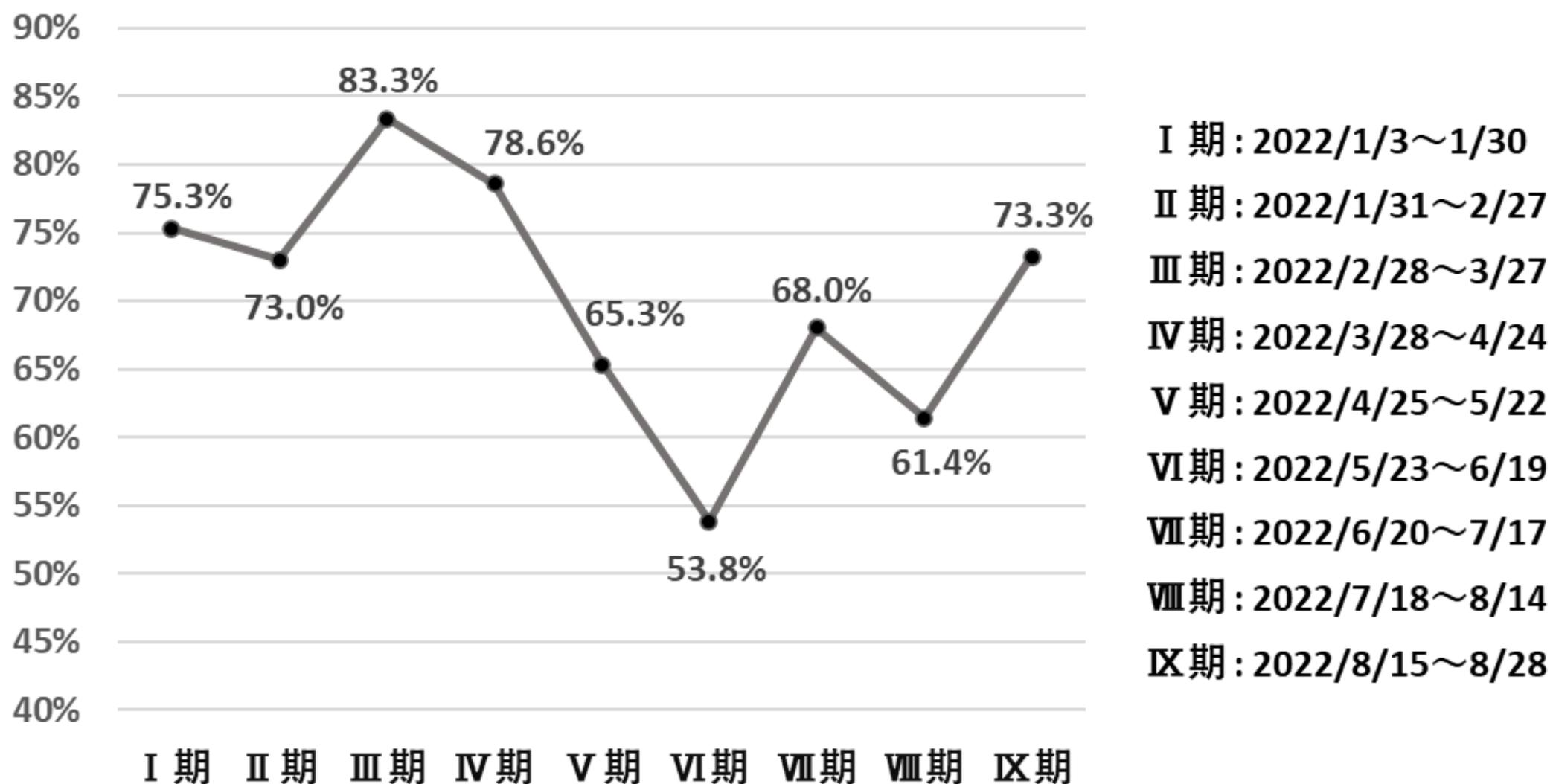


図2. COVID-19第6波,7波の死因判明者におけるコロナ関連死亡確率の推移

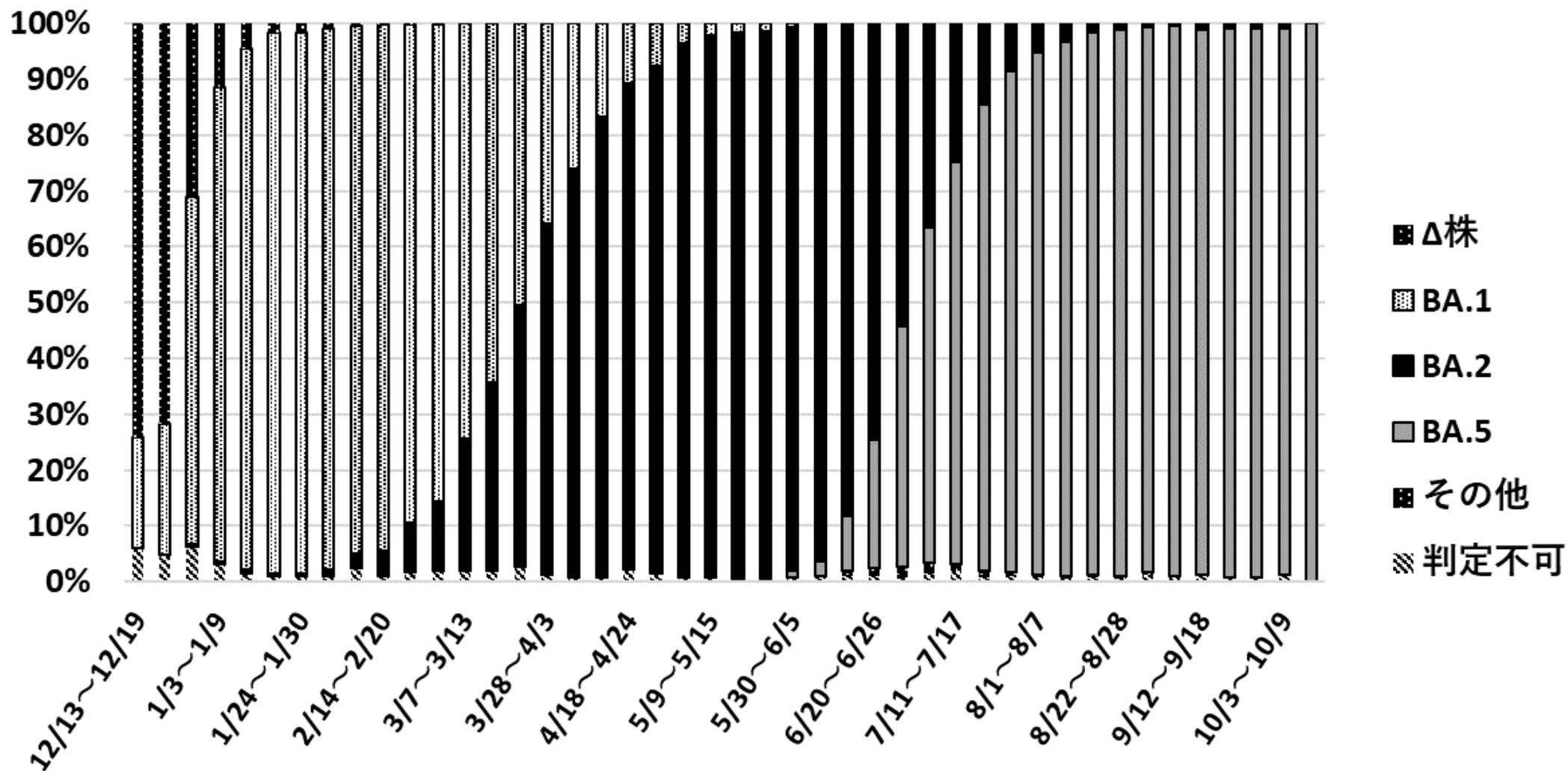


図3. COVID-19第6波,7波における変異株の推移(2021/12~2022/10)

出典：国立感染症研究所 新型コロナウイルスゲノムサーベイランスによる国内の系統別検出状況(2022/10/27)

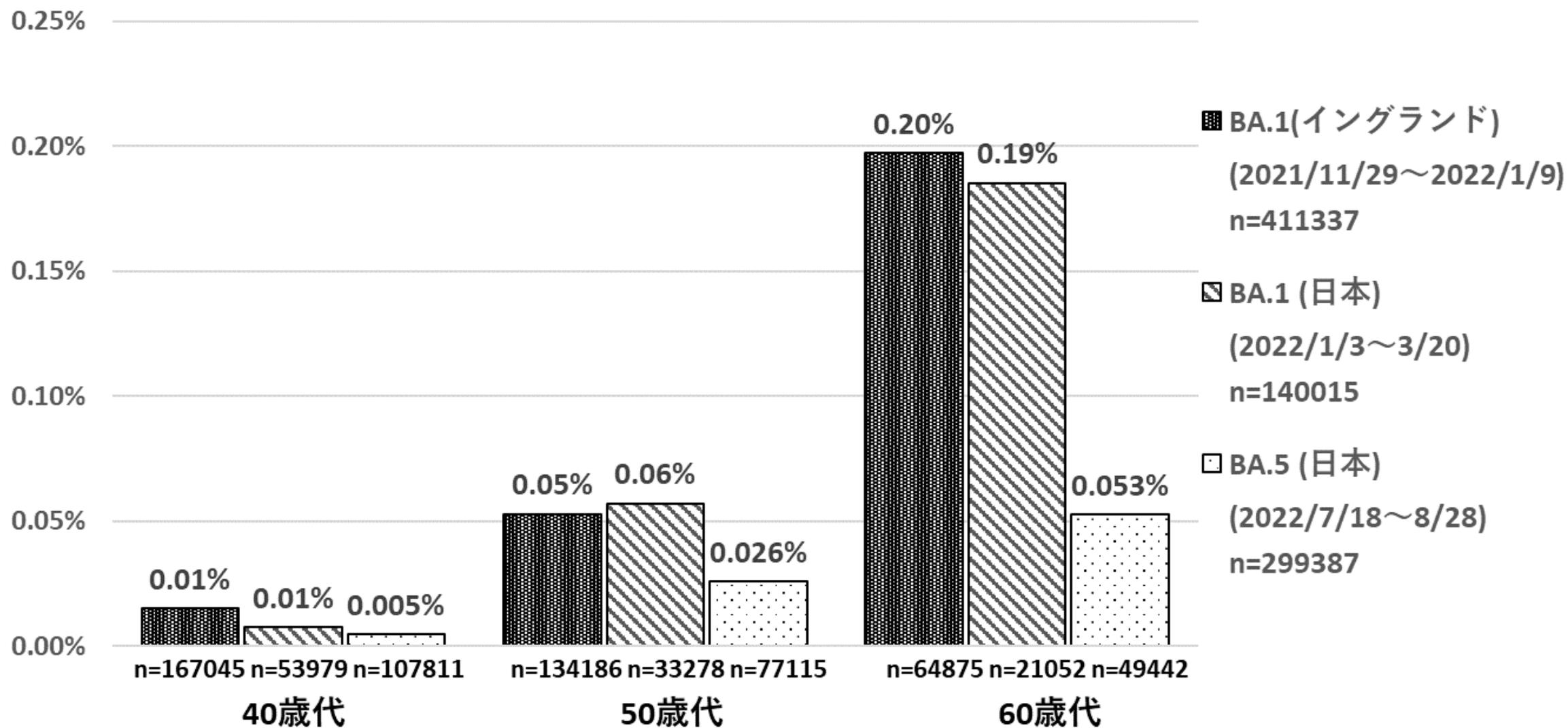


図4. COVID-19 BA.1(日本), BA.5(日本)とBA.1(イングランド)の新規陽性者の28日致命率(40,50,60歳代)

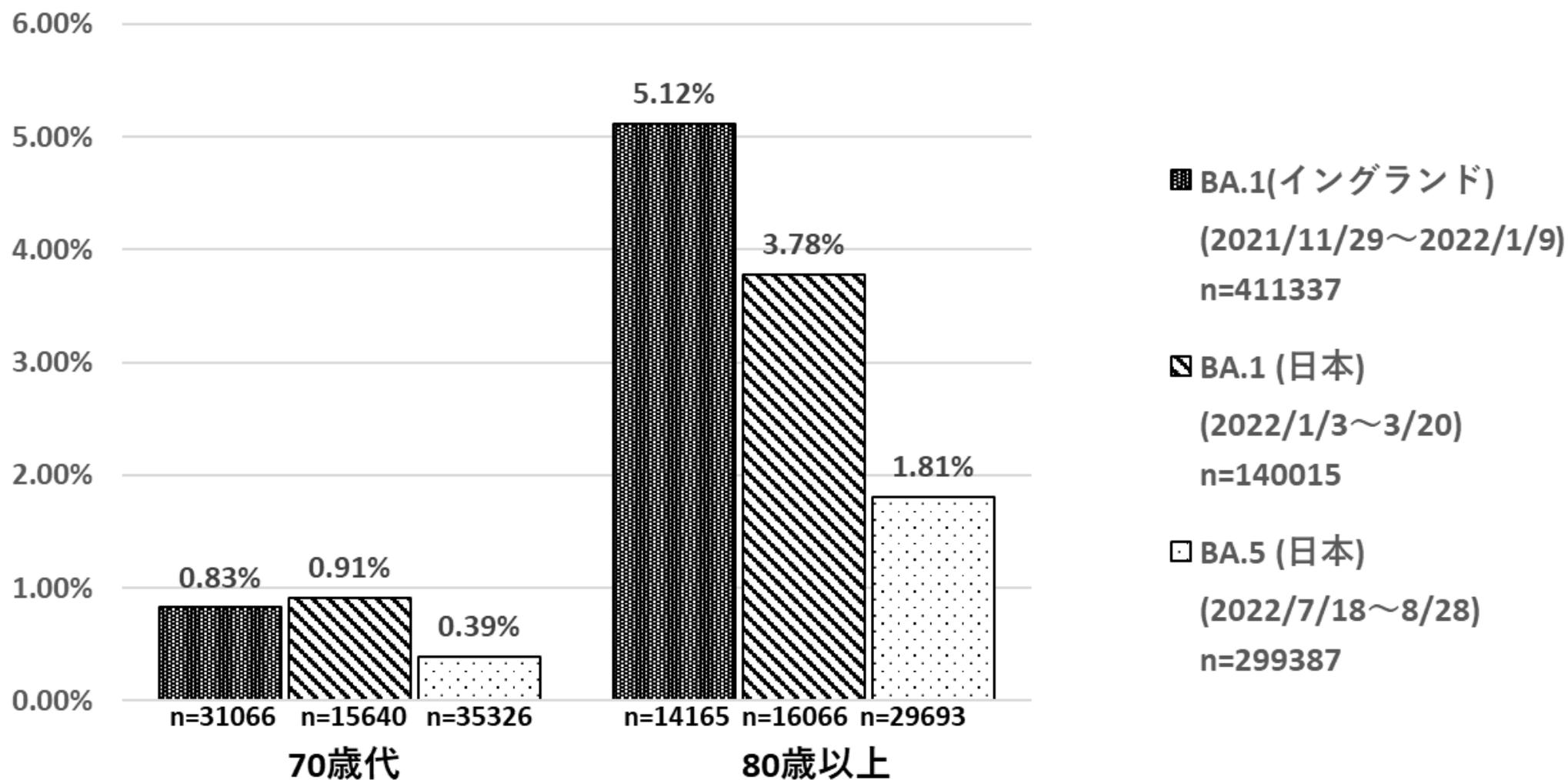


図5. COVID-19 BA.1(日本), BA.5(日本)とBA.1(イングランド)の新規陽性者の28日致命率(70歳代,80歳以上)